

動物園のエサはどこからくるの!?

たくさんの動物を飼育している動物園。肉や、植物など食べるものも動物によって様々です。動物たちが食べるエサは動物園の中にある「飼料庫」に保管されています。



飼料庫は
大きな冷蔵庫、
冷凍庫です。

野菜や果物、肉や魚、他にも木の枝や虫(ミルワーム)など様々なエサが用意されています。



エサは購入していますが、農家の方から味には問題はないけれど形の悪い野菜や果物をいただいたり、市民の方が寄付をしてくださることもあります。

円山動物園でシマフクロウのヒナが生まれました

～繁殖のカギはたっぷり与えた活魚～

シマフクロウは魚を食べるフクロウで、日本には北海道に約165羽のみ生息しています。繁殖期は冬で、秋ごろから食べる量が増えます。当園では千歳水族館や豊平川さけ科学館から活魚を



もらって、たっぷりシマフクロウにあげることにしました。その結果、2021年に当園で初めてシマフクロウのヒナが1羽生まれ、2022年には2羽生まれました。2021年生まれのシマフクロウは猛禽舎で展示しています。2022年生まれのヒナは円山動物園で不定期に開催している猛禽類野生復帰施設ツアーに参加すると見ることができますよ。

さっぽろ
円山動物園
Sapporo Maruyama Zoo
だより
2022
Vol. 178
秋号



食欲の秋が
やってきた!

動物たちの エサのひみつ?

開園時間	3月1日～10月31日…午前9時30分～午後4時30分 11月1日～2月末日…午前9時30分～午後4時
休園日	毎月…第2、第4水曜日(祝日の場合は翌日) ※8月は3日、24日 4月・11月…第2水曜日を含むその週の月～金曜日 12月…29～31日
料金	大人年間パスポート/2,000円 団体(30名以上)/720円 大人/800円 高校生/400円 小人(中学生以下)/無料 駐車料金 普通車/1回700円

飼育動物数 (2022年6月末時点)	
哺乳類	54種 276点
鳥類	39種 134点
爬虫類	47種 291点
両生類	15種 244点
魚類	1種 3点
総計	156種 948点

札幌市円山動物園公式HP
<https://www.city.sapporo.jp/zoo/>
札幌市円山動物園 TEL011-621-1426

SAPP_RO

動物取扱業に関する表示
・氏名:札幌市円山動物園 園長 神 賢寿
・事業所の名称:札幌市円山動物園
・事業所の所在地:札幌市中央区宮ヶ丘3番地1
・動物取扱業の種別(登録番号):展示(札幌動物登録第437号)、販売(札幌動物登録第1081号)、保管(札幌動物登録第1082号)、貸出(札幌動物登録第1083号)、訓練(札幌動物登録第1084号)
・登録年月日:平成19年5月21日(展示)、平成24年5月21日(販売、保管、貸出、訓練)
・有効期限の末日:令和9年5月20日(展示、販売、保管、貸出、訓練)
・動物取扱責任者:山本 秀明

動物たちのエサ 動物たちにとって、食べ物^{たもの}は生きていくうえで欠かせないものです。今回は、動物たちのエサについて学んでみましょう。

動物たちはどんなものを食べている？

動物たちのエサは動物の種類によって異なります。植物や他の動物の肉、虫や魚を食べる動物など地球上には様々な動物たちが暮らしています。動物園にいる動物たちがどんなエサを食べているのか、見てみましょう。

よくあるイメージ エゾヒグマ



サケやシカばかり食べてる？

ハイエナ



死体や横取りばかり？

オランウータン



甘い果物ばかり？

本当は？



円山動物園でのエサは **葉物野菜、クローバー、魚**

野生のヒグマは肉や魚だけ食べるわけではありません。春にはタケノコ、秋には種子類など、季節によって様々なものを食べます。動物園でも季節に応じたエサを与えています。



円山動物園でのエサは **丸ままの鶏、馬肉、ダチョウの卵など**

実はエサの多くは自分で狩りをして得た獲物といわれています。噛む力が強く、骨まで食べることができるので、動物園では骨付きの肉のほか、牛骨やシカの角も定期的に与えています。



円山動物園でのエサは **枝木、葉物野菜、果物**

野生のオランウータンは果物だけでなく、葉、樹皮、花、キノコ、植物の根など様々なものを食べます。動物園でも果物だけでなく、野菜、牛乳、煮干し、ヒマワリの種、サトウキビなど30種類以上を与えています。

エサの与え方も大切です！

「エサのあげ方」を考えることは飼育員にとって大切なお仕事のひとつです。野生で暮らす動物たちの多くは、長い時間をかけてエサを探したり、食べたりしながら一日を過ごします。動物園では、目の前にエサをドンと置くだけだとあっという間に食べてしまい、それは野生本来の姿とはいえません。野生で暮らす動物の生活に近づけるために、様々な工夫をしています。どんなエサのあげ方をしているのか見てみましょう。



エゾヒグマ

主に嗅覚を使ってエサを探すため、穴を掘ってエサを埋めたり、草木の中にエサを隠しています。



ハイエナ

野生のハイエナは、食べきれなかったエサを、土や水の中に隠す習性があります。隠したエサを嗅覚を使って探したり、土を掘って取り出すため、動物園でも穴を掘って埋めることがあります。

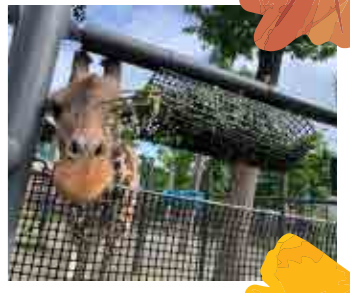
キリン

キリンは長い舌を使い器用に葉だけを食べています。動物園ではこれを再現するため、ネットを加工したフィーダーを使用しています。



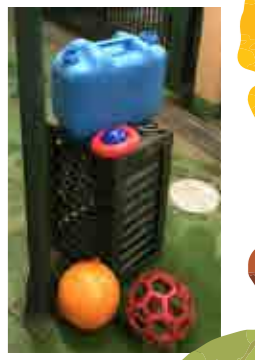
フィーダーってなに??

フィーダーというのは、簡単にいうとエサを入れる入れ物のことです。ただの入れ物ではなく、エサが取りにくくなっていたり、道具を使わないと取れないようになっていたり、エサを食べる時間を伸ばすために使われます。



オランウータン

オランウータンは動物の中でも特に高い知能を持っています。頭を使ってエサを手に入れられるよう、複雑な仕掛けのフィーダーをたくさん使用しています。



調べてみよう！

円山動物園にいる好きな動物がエサを食べる様子を絵や文でかいてみよう！
★何を食べていたかな？どんなエサの食べ方をしていたかな？

選んだ動物 _____